

全国銀行のリスク管理債権の状況(平成11年9月期)

(単位:億円)

	機関数	総資産		リスク管理債権					貸倒引当金		業務純益		有価証券 含み損益 (日経平均 17,605円)
			貸出金		破綻先債権	延滞債権	3カ月以上 延滞債権	貸出条件 緩和債権		個別貸倒引 当金	過去5年 間平均	11年9月 期	
都市銀行	9	3,820,690	2,425,230	123,740 (120,320)	9,900 (8,940)	79,860 (83,440)	6,520 (7,510)	27,450 (20,440)	51,460	32,970	25,060	12,350	52,180
長期信用銀行	1	396,150	224,220	20,060 (20,220)	1,530 (1,550)	14,070 (14,190)	70 (80)	4,390 (4,390)	12,080	10,270	2,060	890	1,730
信託銀行	7	819,590	463,600	48,370 (49,390)	6,010 (6,440)	33,640 (34,070)	940 (1,040)	7,780 (7,840)	16,590	12,920	6,880	1,680	8,580
主要行計	17	5,036,430	3,113,050	192,170 (189,930)	17,440 (16,930)	127,570 (131,700)	7,530 (8,630)	39,620 (32,670)	80,130	56,160	34,000	14,920	62,490
地方銀行協会加盟行	64	1,983,860	1,340,590	76,370 (81,590)	13,740 (15,440)	37,250 (40,740)	1,990 (2,120)	23,390 (23,290)	38,760	29,710	12,660	5,650	30,790
第二地方銀行協会加盟行	55	630,360	442,360	28,610 (30,340)	5,560 (6,370)	11,430 (12,840)	1,150 (1,340)	10,470 (9,790)	12,510	10,150	4,060	1,790	3,420
地域銀行計	119	2,614,220	1,782,950	104,980 (111,930)	19,300 (21,810)	48,680 (53,580)	3,140 (3,460)	33,860 (33,080)	51,270	39,860	16,720	7,440	34,210
全国銀行計	136	7,650,650	4,896,000	297,150 (301,860)	36,740 (38,740)	176,250 (185,280)	10,670 (12,090)	73,480 (65,750)	131,400	96,020	50,720	22,360	96,700

(注) 1. 計数は、億円を四捨五入し、10億円単位にまとめた。

2. 日本長期信用銀行、日本債券信用銀行、国民、幸福、東京相和、なみはや、新潟中央の各行を除く。

3. 「延滞債権」とは、「元本又は利息の支払の遅延が相当期間継続していることその他の事由により元本又は利息の取立て又は弁済の見込みがないものとして未収利息を計上しなかった貸出金であって、破綻先債権及び債務者の経営再建又は支援を図ることを目的として利息の支払を猶予したもの以外のもの」であり、「3カ月以上延滞債権」とは、「元本又は利息の支払が約定支払日の翌日から3カ月以上遅延している貸出金であって、破綻先債権・延滞債権以外のもの」である。

4. ()内の計数は、連結ベースのリスク管理債権の額。なお、安田信託、日本信託、わかしお、関西の各行については、親銀行の連結リスク管理債権の額から当該各行の連結リスク管理債権の額を差し引いている。

5. 一部金融機関において部分直接償却(破綻先及び実質破綻先に対する担保・保証付債権について、担保等による回収が不可能な額(第4分類債権額)に対し、個別貸倒引当金の計上ではなく、直接償却すること)が行われており、それによる減少が単体ベースで6兆9,650億円、連結ベースで9兆620億円である。

6. 一部金融機関において未収利息を不計上とする貸出金の範囲の拡大(破綻懸念先以下の債務者に対する貸出債権について、元本等の回収可能性に問題がある債権として未収利息の計上を行わないこととし、リスク管理債権の「延滞債権」等に該当することとするようにしたもの)が行われており、それによる増加が1兆3,370億円(単体ベース)である。